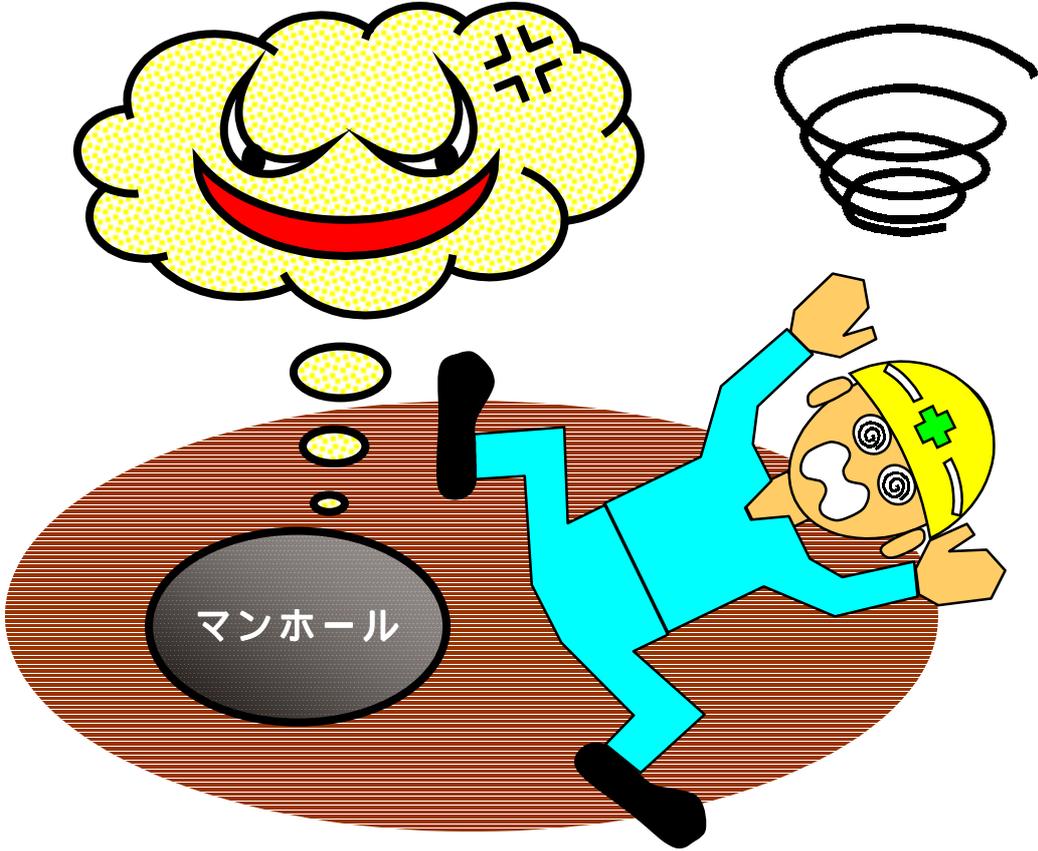


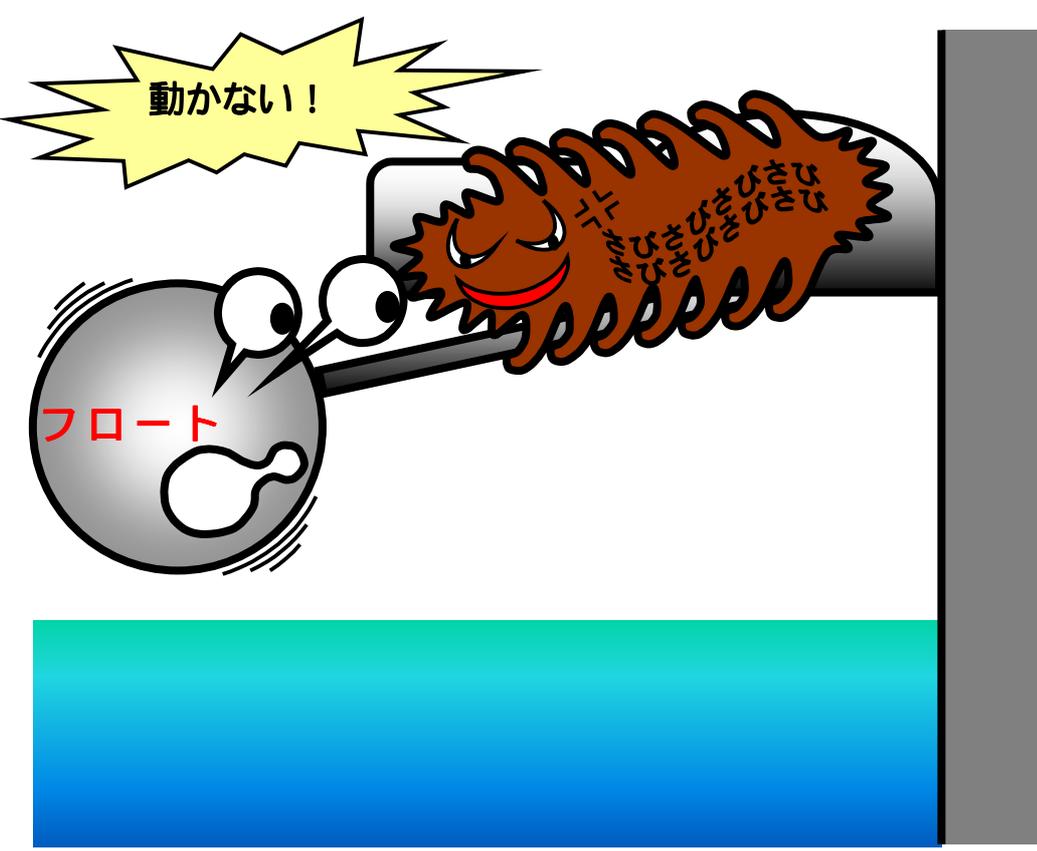
【事例 - 7】 一般高圧ガス製造事業所のヒヤリハット（7）

内 容	圧力計のピンホールによるアンモニアの漏えい
状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・アンモニア臭がするため点検したところ、圧力計からガスがわずかに漏えいしていることを発見した。圧力計の内部を調べたところ、ブルドン管が腐食しピンホールができていた。
想 定 される 事 故	<ul style="list-style-type: none"> ・圧力計の破損によるガスの漏えい ・他の圧力計についても同様の事故の発生の可能性あり
概略図	 <p>高圧ガスの種類に応じた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品材質の選定 ・検知方式の検討 <p>0 1 2 3、 MPa</p>
対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食性の高い高圧ガスの場合は、耐腐食性の材質を選定 ・圧力計の定期更新

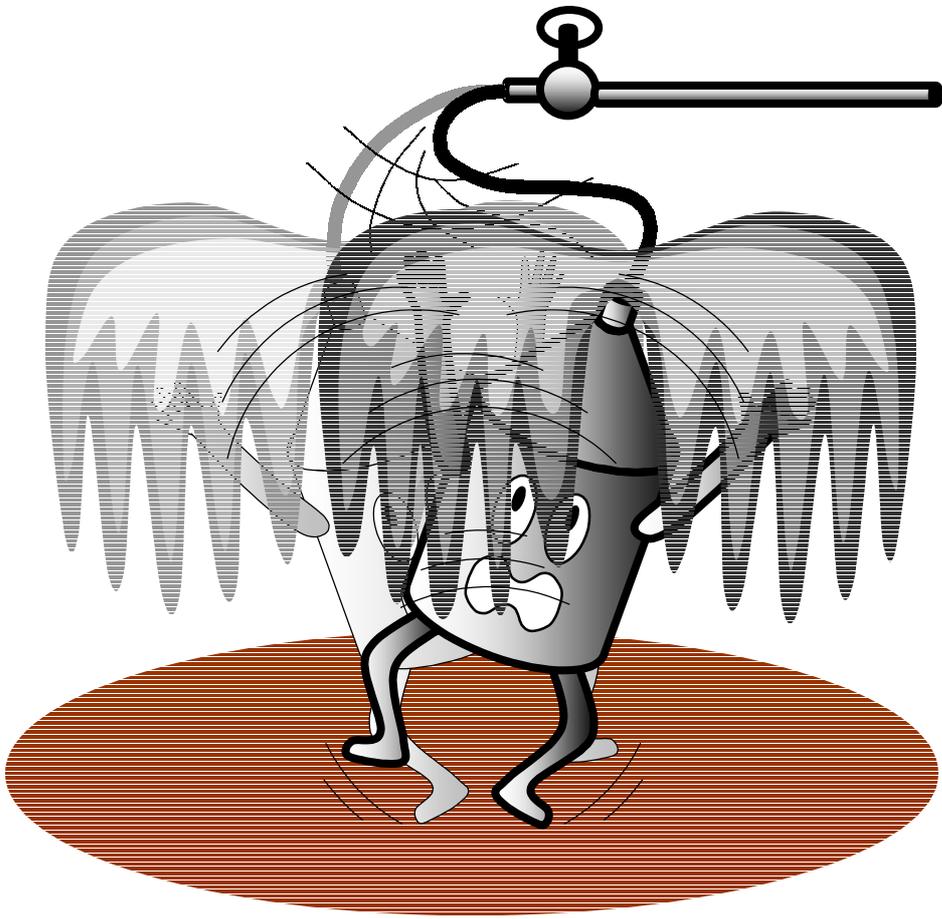
【事例 - 8】 一般高圧ガス製造事業所のヒヤリハット（8）

内 容	マンホール開放時の不注意による人身事故
状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・地下に埋設した貯槽を点検するためマンホールを開放し、内部をのぞいたところ、気分が悪くなりその場に倒れてしまった。
想 定 される 事 故	<ul style="list-style-type: none"> ・酸欠事故 ・毒性ガスによる急性中毒
概略図	
対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・確実な換気の実施と毒性ガスや酸素濃度の測定 ・酸欠事故に関する保安教育の実施

【事例 - 9】 一般高圧ガス製造事業所のヒヤリハット(9)

<p>内 容</p>	<p>液面調節計フロートの錆付きによる動作不良</p>
<p>状 況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 液化酸素の貯槽に設けた散水設備の試運転を実施したとき、散水ノズルから水が出なかった。散水用の水槽を点検したところ、給水用液面調節計のフロートが錆付いて動かなくなっていた。
<p>想 定 される 事 故</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の温度上昇や火災の拡大を防止することが不可能
<p>概略図</p>	
<p>対 策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 液面調節計の定期点検 ・ 液位低下の警報器の設置

【事例 - 10】 一般高圧ガス製造事業所のヒヤリハット(10)

<p>内 容</p>	<p>急激なバルブの開閉による液化窒素の気化</p>
<p>状 況</p>	<p>・ コールドエバポレータから液化窒素をデュワー瓶に取り出すとき、バルブを急激に開けたので、液が気化して瓶からあふれ出た。あわててバルブを閉止したが、放っておけば液が流出してしまうところだった。</p>
<p>想 定 さ れ る 事 故</p>	<p>・ 瓶から液が流出 ・ 凍傷などの人身事故</p>
<p>概略図</p>	
<p>対 策</p>	<p>・ バルブの開閉は徐々に行う。 ・ 基本的な作業マニュアルの見直し ・ マニュアルどおりの作業の徹底</p>